

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ジャッカル・ゴースト	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	ΔRG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：JACKAL GHOST**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：JACKAL LE**

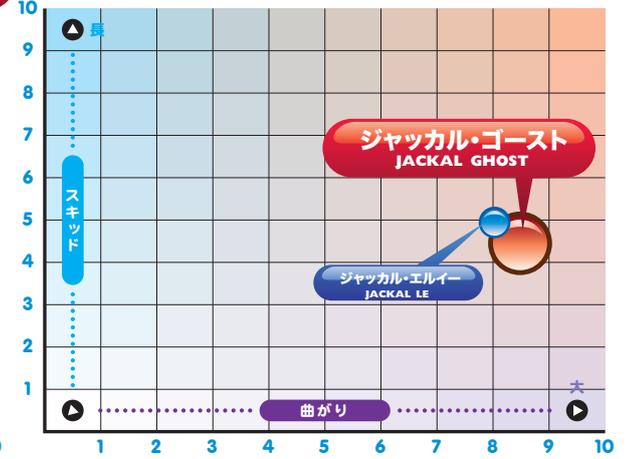
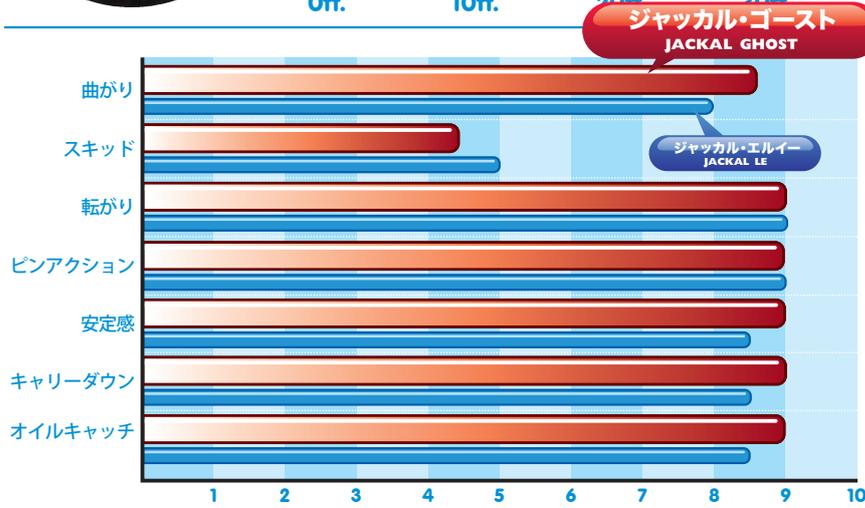
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

Jackal, Sakhir Jackal, Jacal Carnage, Jackal LEと本作で5代目になるJackalですが、国内外ですべてのボールが結果を残し、プレイヤーをタイトルホルダーに導いたシリーズは近年ないと言っても良いぐらい、MOTIV社の代名詞の位置づけのボールになりました。今回のJackal GHOSTはHeavyなオイルに対応可能な定評のあるSolid Coverで、手前のキャッチも感じながら奥の動きもしっかりと見える、Jackal CarnageとJackal LE二つの性能を併せ持つボールに仕上がっています。

第一印象である程度手前からのキャッチの強さを感じましたので、比較投球はJackal CarnageとJackal LEの2種と行いました。Jackal Carnageはかなり手前からの強い動き出しを感じ、Midの強さが協調されています。Jackal LEはオイルに対しての強さを感じるものの、手前からグイグイと曲がるイメージはなく、初代Jackalと同じようなややBackendの動きに焦点をあてた作りです。このJackal GHOSTの第一印象はCarnageとLEの双方を性能を併せ持つボールに感じました。イメージではCarnageとLEとちょうどその中間に入る領域で、手前のキャッチはCarnageほど早くはなく、LEよりもやや早めの立ち上がりを感じます。

市場調査の中でCarnageだと奥の動きが物足りないと感じる方もいましたし、LEだと手前のキャッチが少なく滑るイメージを持たれる方もいらっしゃいました。その双方を補うのがGHOSTで、もう投げた瞬間に”Lackalだ!”と見えるほどJackalシリーズの動きは継承されており、一部お問い合わせのあるPredator Core RG 2.46 ΔRG 0.060から Predator V2 Core 2.47 0.054へModifyされたリアクションへの影響は全くなく、全開でJackalのPerformanceを得られるところがMOTIV社の素晴らしいところでもあり、奥深い技術を感じます。

### 特記事項

**MidとBackendの2回曲がるようなイメージを感じるJackalシリーズの最新作はGHOST。LEよりもやや早めの動き出しを求める方、また奥でしっかりと曲りを得たい方はこのボールがおすすめです。**